

CITY OF YOKOHAMA

横浜市の病床の現状及び病床 整備について

令和5年度第1回 横浜地域 地域医療構想調整会議

横浜市医療局地域医療課

2023年8月8日

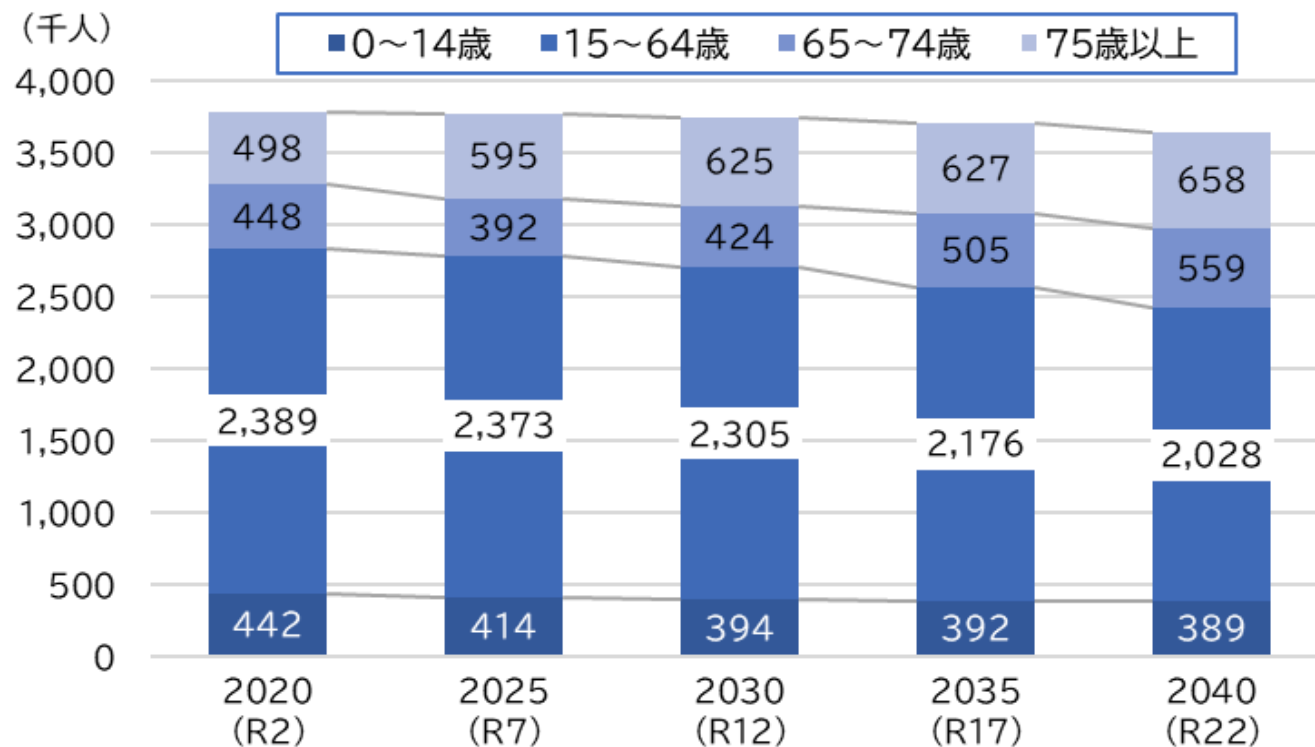
明日をひらく都市
OPEN X PIONEER

基準病床数等の推移

	30年度 (2018)	元年度 (2019)	2年度 (2020)	3年度 (2021)	4年度 (2022)	5年度 (2023)	計
基準病床数	23,516床	23,605床	23,785床	23,993床	23,993床	23,993床	
既存病床数	22,661床	23,436床	23,183床	23,529床	23,620床	23,608床	
配分可能 病床数	859床	169床	602床	464床	373床	385床	
応募病床数	2,116床	—	880床	214床	応募なし		
配分病床数	809床	配分なし	470床	154床	—		1,433床
うち返還	341床	—	10床		—		351床

※既存病床数には令和3年度までに配分した病床数を含みます。

横浜市の今後の人口見通し推計



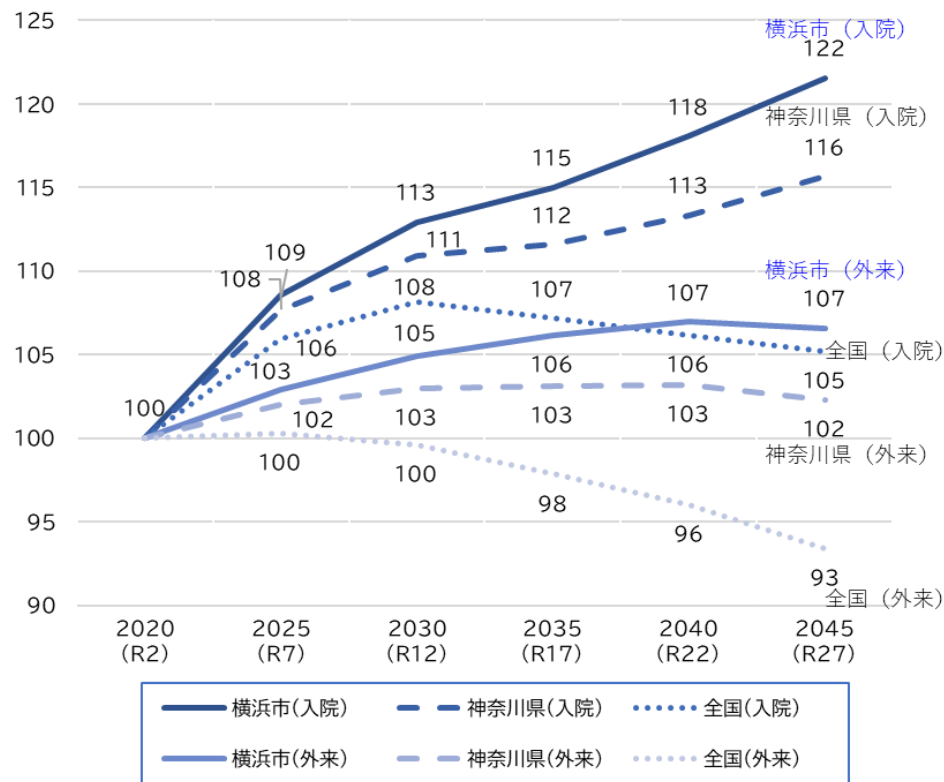
出典：横浜市今後の人口の見通し推計（令和3年度）

- 横浜市の総人口は2021年をピークに**減少傾向**
- 15~64歳の生産年齢人口は2020年から2040年にかけて**15.1%減少**する見込み
- 一方で、75歳以上の人口は 2020年から2040年にかけて**32.1%増加**する見込み

横浜市の医療需要の予測

- 全国の**入院医療**に関する需要は2030年ごろをピークに減少する一方、横浜市の医療需要は2045年頃までは増加していく見込みであり、2020年対比で2040年は**18%増**となる予測である
- 全国の**外来医療**に関する需要は2025年頃をピークに減少する一方、横浜市の医療需要は2040年ごろをピークに2045年頃までは維持していく見込みであり、2020年対比で2040年は**7%増**となる予測である

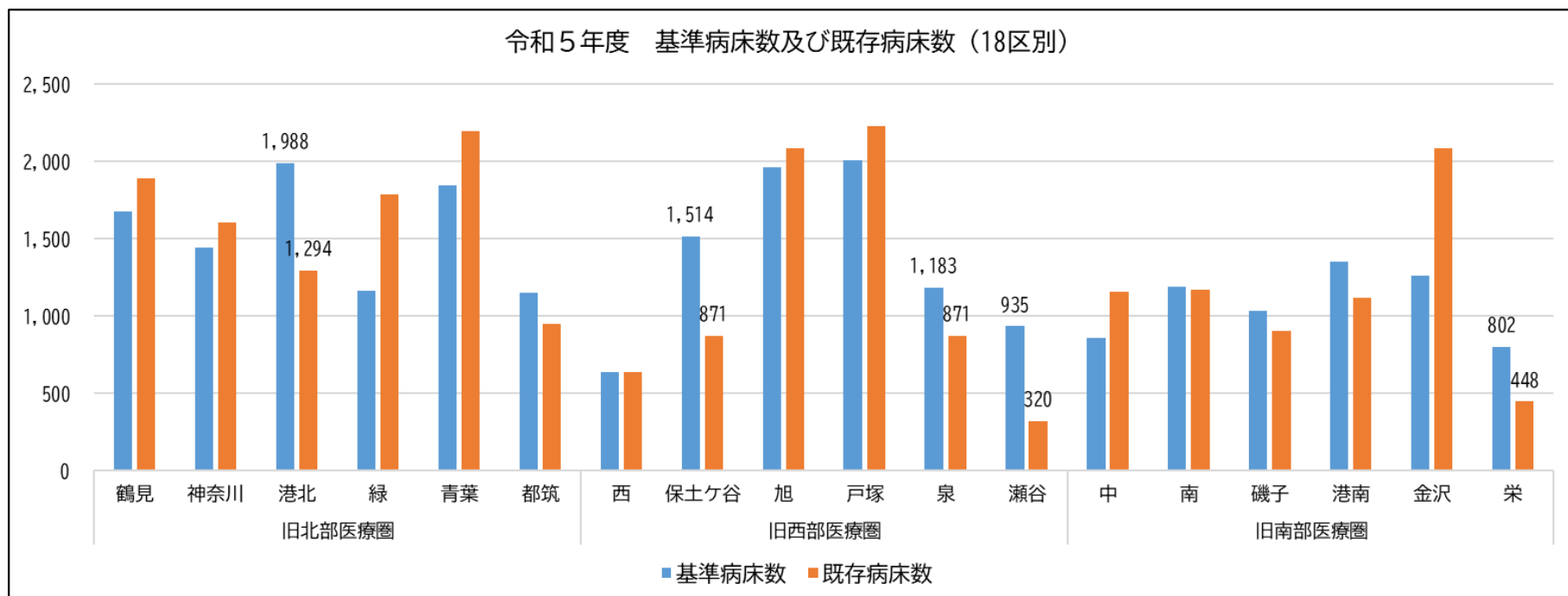
医療需要予測
(2020年=100)



出典：患者調査（令和2年）「受療率（人口10万対）、入院-外来×性・年齢階級×都道府県別」
 国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成30（2018）年推計）」
 横浜市「今後の人口見通し推計（令和3年度）」
 ※ 二次医療圏の患者数は、当該二次医療圏が属する都道府県の受療率が各医療圏に当てはまるものとして、将来の人口推計を用いて算出。

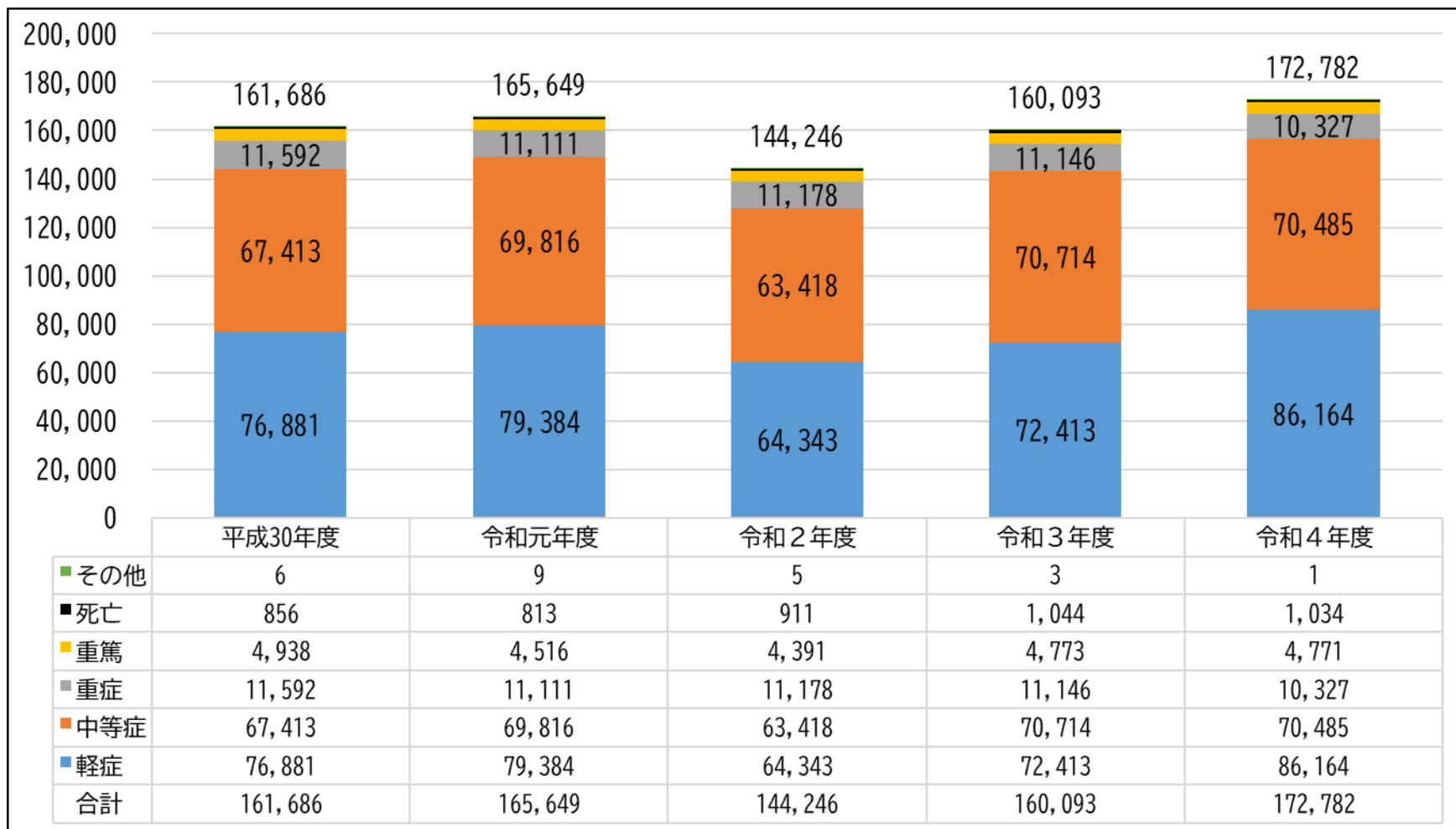
【参考】旧医療圏別の基準病床数と既存病床数

	旧北部 医療圏	旧西部 医療圏	旧南部 医療圏	計
基準病床数	9,262床	8,231床	6,500床	23,993床
既存病床数	9,714床	7,015床	6,879床	23,608床
差引	+452床	-1,216床	+379床	-385床



※区別の基準病床数は旧医療圏ごとの数字を案分して算出しています。

【参考】市内の救急搬送件数の推移



【参考】 過年度配分病床の整備状況

配分年度	配分病床数	返還済	稼働済	整備中
平成30年度 (2018)	809床	341床	304床	164床
令和2年度 (2020)	470床	10床	64床	396床
令和3年度 (2021)	154床	—	62床	92床
合計	1,433床	351床	430床	652床

(令和5年7月時点)

【参考】整備中病床の状況

配分年度	病院	配分病床数	稼働予定時期		整備が遅れている理由
			当初	R5.7時点	
平成30年度(2018)	新横浜リハビリテーション病院	緩和：20床 地ケア：42床 回リハ：42床	R3.4	R5.9	整備予定地の調整に時間がかかったため（R4.3着工済）
	戸塚共立第1病院	回リハ：60床	R4.11	R8.1	整備予定地の調整に時間がかかっているため
令和2年度(2020)	さいわい鶴見病院	地ケア：60床	R5.12	R6.12	既存棟の改修から改築へ事業計画が変更となったため
	清水ヶ丘病院	療養：20床	R6.2	R6.4	建築費の高騰により収支計画の見直しが必要となったこと及び将来的な病院の建替えを考慮し、整備方法及び整備病床数について検討を行っているため
	鴨居病院	療養：24床	R4.11	R7.10	新型コロナ（発熱外来・ワクチン接種）対応のため
	元気会横浜病院	療養：68床 地ケア：50床	R8.7	R9.4	新型コロナウイルスの感染拡大や物価高騰などの影響により、設計を大幅に見直しているため 解体工事契約は締結済み

【参考】整備中病床の状況

配分年度	病院	配分病床数	稼働予定時期		整備が遅れている理由
			当初	R5.7時点	
令和2年度(2020)	ふれあい東戸塚 ホスピタル	障害：49床	R5.4	R9.4	整備予定地の調整に時間がかかっているため
	西横浜国際総合病院	地ケア：5床	R5.4	R7.9	整備予定地の調整に時間がかかっているため
	イムス横浜旭リハビリテーション病院	回リハ：120床	R6.6	R6.8	社会情勢に伴い電気設備（キュービクル）の供給が不安定な状態となり納入までに時間を要しているため、工事期間が全体で2か月程遅れています
令和3年度(2021)	新横浜こころの ホスピタル	療養：76床	R6.3	R7.11	建築に係る資材・人件費の高騰の影響による工費の増加を抑えるため、工事内容の見直し・工期の短縮を検討しており、時間を要しております
	横浜いずみ台病院	療養：16床	R4.6	R5.10	建築費の高騰により、予算の組み直し、収支計画の見直しが必要となったため

○新横浜こころのホスピタルにおける精神病床の削減に向けた自主的な検討状況及び地域医療への貢献について

- ・精神病床の削減については、地域における医療ニーズと病床の稼働状況、経営状況を適時評価し、検討を進めております。
- ・地域医療への貢献につきましては、近隣の急性期病院で治療を終えた患者さまや在宅復帰が困難な患者さまを積極的に受入れ、地域の急性期病床の確保に貢献するべく尽力しております。